

愚弟賢兄 (1953)

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 日本

色彩 B&W

初公開日 1953/06/10

【解説】

佐々木邦の同名小説を、椎名利夫が脚色し野村芳太郎が監督した。同小説は1931年に五所平之助監督で映画化されている。

秀才の兄とは打って変わって、弟の貢二はどうか大学を卒業できる程度の凡人だった。銀行に就職できたのも、兄・貢一の力添えがあったからこそ。貢二は兄嫁の姪である春子に好意を持つが、銀行の頭取から持ち込まれた見合いをすることになってしまった。断れないが断りたい貢二は、仮病を使って見合いを欠席。そのことが兄に知られ、激しく叱責される。怒りは兄嫁にまで飛び火し、貢二は頭取を訪ねすべてを打ち明けた。頭取は後からやってきた貢一に「立派な弟さんだ」と告げた。

【クレジット】

監督 野村芳太郎

製作 小倉武志

原作 佐々木邦

脚本 椎名利夫

撮影 長岡博之

音楽 木下忠司

出演 高橋貞二

紙京子

三橋達也 Tatsuya Mihashi

月丘夢路

川喜多雄二

笠智衆